

	項目	内容
防水性	耐衝撃試験の水密性	500gの重り1.0mから落下後水圧981kPa (10kgf/cm <sup>2</sup> ) で漏水無し
	砕石転圧後の水密性	転圧時間10分、水圧490kPa (5kgf/cm <sup>2</sup> ) で漏水無し
	継ぎ目の有無	シームレスで継ぎ目無し 強接着であるため万一の破損部からの水の横走り無し
物性	引張り強さ	13.2N/mm <sup>2</sup> (1.320N/cm <sup>2</sup> )
	伸び率	382%
	引裂き強さ	62.8N/mm (628N/cm)
	接着性(対コンクリート)	2.1N/mm <sup>2</sup> (下地コンクリート材破) (210N/cm <sup>2</sup> )
	下地亀裂抵抗	10mm幅以上の亀裂に追随する
	繰返し伸縮追従性	1.0mm幅の2,500回繰返し伸縮に追随する
	遮塩性	透過塩分検出せず
	耐圧縮性	10%変形/荷重4.9N/mm <sup>2</sup>
	硬度	Shore A 85
	溶出性	環境庁告示第46号(平成3年「土壌環境基準に係わる対象物質27種」) の溶出試験に合格
	施工性	施工期間
下地形状適応性		立面、天井および複雑な形状に関係なく施工できる

※試験値



地下構造体シームレス防水

## CVスプレー工法



**株式会社 タイフレックス**

〒163-0825  
東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル25F 私書箱第6086号

土木材料営業本部

本部・東京支店 / TEL.03-5381-0666 FAX.03-5381-0670  
 大阪支店 / TEL.06-6292-0533 FAX.06-6292-0522  
 札幌営業所 / TEL.011-804-8050 FAX.011-804-8061  
 仙台営業所 / TEL.022-207-5010 FAX.022-207-5011  
 新潟営業所 / TEL.025-365-3010 FAX.025-365-3011  
 名古屋営業所 / TEL.052-686-0101 FAX.052-735-3992  
 福岡営業所 / TEL.092-432-9220 FAX.092-432-9221

ISO 9001 認証取得



登録証番号 JQA-CM5412  
つくば工場  
[防水材の製造]  
注冊グループ  
[防水材の設計・検査]  
設備付・システム  
[防水材の設計・検査]  
浮床工場 シート製造棟  
[防水材の製造]

ISO 14001 認証取得



登録証番号 JQA-EM3204  
つくば工場  
[ワレタン防水材の製造]

(14.1月現在)  
14.01.2000 DFC



# 地下の諸条件を克服し、理想の外防水を実現する新工法

地下構造体への外防水は、躯体内部への水の侵入を防ぐと共に塩分などを含んだ水から躯体を保護するために必要不可欠な工法です。しかし、施工面の凹凸、不十分な乾燥、セパレータ等の突起物、埋め戻しの際の土圧など、地下特有の諸条件が、従来の防水工法では大きな障害となってきました。超速硬化スプレーアップシステムによるハイポリマーウレタンゴム成膜技術により、躯体を高い性能で被覆し、信頼性の高い防水効果、保護効果を実現したのがダイフレックスの外防水工法です。

- ・東京都建設局新技術登録 (19土技支第439号 0701021)
- ・東京都港湾局新技術登録 (19港整技第143号 19004)
- ・NETIS (TH980010-A) / 国土交通省
- ・技術審査証明 (技審証第0422号SQS工法) / (財) 土木研究センター
- ・ARIC農業農村整備新技術 (190、名称:SQS工法) / (社) 農業農村整備情報総合センター
- ・阪神高速道路株式会社 新技術登録 (名称:地下防水・ケーソン外防水) / (財) 阪神高速道路管理技術センター

## CVスプレー工法の特長

### 1 工期・工費削減のローコスト工法

先防水施工は下地を作らずSMW等の山留め壁に直接施工するため、防水下地に要した工期、工費を削減できます。また、後防水施工は、躯体にしっかりと接着するため、埋め戻しの際の保護材が必要なく、工期、工費を削減できます。

### 2 複雑な形状もシームレス完全防水

超速硬化スプレー施工のため、シームレスで水密性の高い防水層を形成できます。しかも、セパレータ、中間杭廻りなどの複雑な形状も確実に接着してトレースするため、水が内部に入るのを防ぎます。

### 3 均一、高物性メンブレン防水

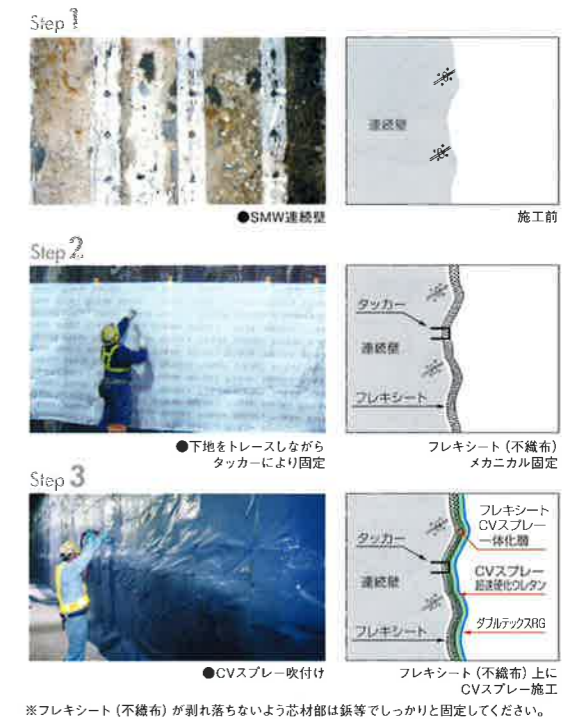
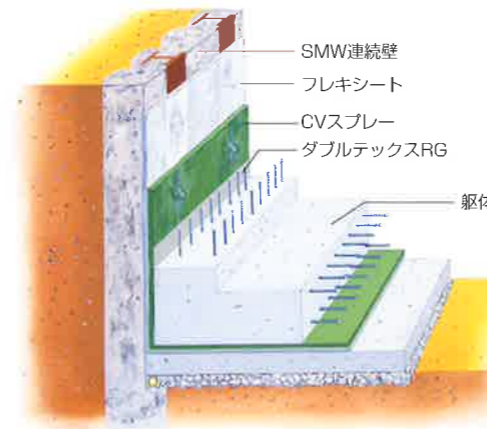
機械管理された施工システムにより、一定量材料分が供給され、外気温などの作業環境に左右されることなく、均一で高品質な塗膜物性を実現します。

### 4 優れた耐久性

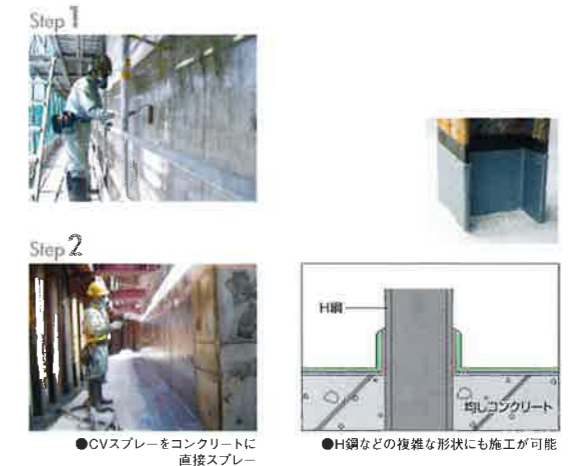
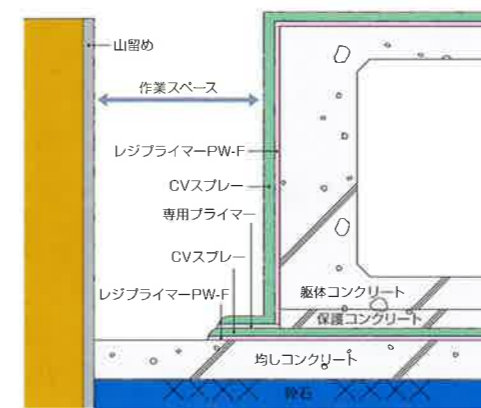
80℃の加熱処理および-50℃の環境下において物性低下することはありません。また、成膜したものは塩分が全く透過せず、さらに海水中においても接着性能は低下しません。

## 工法 CVスプレー工法

### 先防水施工

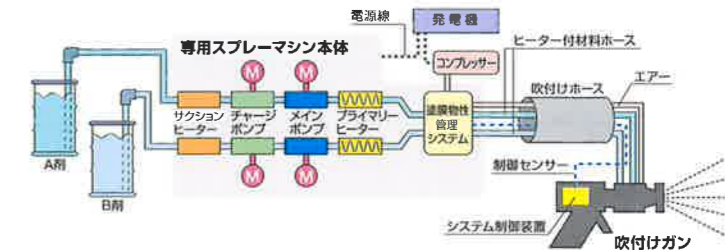


### 後防水施工



### 専用スプレーマシン

専用スプレーマシンは従来オペレーターの目視や経験に頼っていたマシンを温度・圧力・流量のデータをフィードバックし記録するだけでなく、自己診断し制御する【塗膜物性管理システム】を内臓。施工品質に対して大きな信頼を得ることができます。



## 仕様

#### CVスプレー (先防水施工)

工程	材料名	標準使用量	備考
1	フレキシート (不織布)	1.05m	
2	タッカー	5本以上	
3	補助テープ	0.7m	
4	CVスプレー (膜厚2.0mm以上)	2.55kg	塗り継ぎが発生した場合は、専用プライマーを使用して下さい。
5	ダブルテックスRG	0.2~0.3kg	

●CVスプレーの比重は約1.0です。

#### CVスプレー (後防水施工)

工程	材料名	標準使用量	備考
1	レジプライマーPW-F (セメント添加)	※0.2kg	※下地によりプライマーの吸い込みが善い場合は2回施工して下さい。
2	CVスプレー (膜厚2.0mm以上)	2.55kg	

●CVスプレーの比重は約1.0です。